

YUMETRY Vol. 22

◇ありがとう！永原学さん

◇記事内容

農業班：梅雨の間は・・・
 豊科店：暑い時期でもパンを
 有明店：コミュニケーションの難しさ
 外販部：お客様に手に取ってもらうためには！
 DTP班：看板設置と缶バッジ

◇コラム：グループミーティングの内容

夢トライ通信 7月号

発行日：2015年7月11日
 発行：NPO法人 夢トライ
 所在地：〒390-0805
 松本市清水2-11-45
 電話：0263-35-3530
 F A X：0263-35-3547
 メール：npo@yumetry.com
 U R L：http://yumetry.com/npo

あ り が と う 永 原 学 さ ん

伊藤 正昭

平成二十七年七月四日(土) 平成二十七年七月四日(土)の二十一時に永原学君は、微笑んでいるかのような笑顔のまま永遠の眠りにつきました。まだ五十一歳という若さで、時代を吹き抜ける涼風のように私の心の中に十五年間という思い出と悲しみを残して一人旅立ちました。



永原君は、平成十二年4月に初めて松本市社会福祉協議会3階のボランティアルームで出会い、そこにいた他の仲間とともに同年7月に現在の清水にある借家に「共同作業所夢トライ工房」を開設して以来、十五年という年月を共に泣き、笑い、悩み、信じ合ってきた同胞です。ここに断腸の思いで「ありがとう学」と惜別の言葉を捧げます。

永原学君は、脳性麻痺による両上肢麻痺及び発語、嚥下障害などの重度の障害を持ちながら「働きたい！」「働いて認められたい！」という毅然とした信念から、経済的にはパチプロ並の腕前を余暇で楽しむパチンコとして、一カ月働いても「月千円〜三千円」という夢トライ工房で名刺を作る事を自分の仕事として、休むことなく毎日毎日パソコンと格闘して素晴らしい作品を残しました。

彼は、自分の障害を理由として「あれが出来ない、これが出来ない」という事は一言もいわず、お客様からお願いされた注文にも毅然として立ち向かい、お客様が「本当にこの人が作ったんですか？」と驚くほどのレベルで要望に応えてきました。夢トライ工房で仕事を始めてから2、3年経つと誰も彼が重度の障害を持っているとは思わなかった。彼は、仕事をする事で自分の障害を乗り越えたのだと思います。とは言っても、やはり自分



は贈る言葉すらなくします。では障害の進行重度化は気が付いていたのだと思います。彼は、月1、2回岡谷にある信濃医療福祉センターに行き、リハビリを行っていました。何度か信濃医療まで送迎と同行を兼ねて一緒に行っていたことがあります。なんと彼は、パワーリハビリをしていました。通常のリハビリは、身体機能を維持する事を目的として行います。しかしパワーリハビリテーションは、日常生活の動作をより活動的に、かつ安全に行うために、身体的なPowerの向上を図り、それを基に社会的活動・社会参加を促進する、総合的アプローチの事を言います。このパワーリハビリテーションは、今から二十年前ぐらいから行われるようになってきたのですが、彼はすでに十五年以上前から取り組んでいたのです。

私も同じトレーニンゲームニューを試してみました。息は切れるし、全身汗まみれになるし凄まじい内容だったことを思い出します。彼のそれほどまでに自分の障害と正面から立ち向かい、「仕事する事で社会に認めてもらいたい」という強い意志と忍耐に



正面中央で無謀にも足で火花を飛ばしているのが永原君です。この後、彼は火花を不自由な右手の小指で持ち駐車場中を

8月の予定 は休み

工房・有明							豊科						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29
30	31						30	31					



看板 催物会場一式請負 横断幕・垂れ幕・看板～ポスター・チラシ・チケット作成等

夢トライ工房 〒390-0805 長野県松本市清水2-11-45 電話 0263-35-3530 FAX 0263-35-3547
E-mail: yumetry@yacht.ocn.ne.jp

長野県看護研究学会	長野県民松本文化会館	日本A D / H D 学会総会	東京大学鉄門記念講堂
日本看護研究学会	松本市市民芸術館	S S T 普及協会学術集会	群馬県民会館
SST 経験交流ワークショップ	一橋大学兼松講堂	松本市高齢者健康大会	松本市市民芸術館
APASLSingle Topic Conference	幕張メッセ国際会議場	日本総合病院精神医学会総会	都市センターホテル (東京)
NASH 2010	グランドプリンスホテル高輪	日本精神病理・精神療法学会	津田塾大学津田ホール
日本総合病院精神医学会総会	栃木県総合文化センター	日本女性骨盤底医学会学術集会	大宮ソニックシティホール

主な会場一式請負実績

D T P

梅雨入りし、曇りや雨の降る日が多くなってきました。6月の大きな仕事としては、総会のシーズンでもあり、夢トライでも総会がありました。看護協会でも毎年恒例の定時総会があり、その為の横断幕1本、垂れ幕3本、看板1本の印刷と設置の仕事を受注しました。



正面看板

看護協会設置風景

久しぶりの設置作業となりましたが、N君、T君、O君と共に看護協会4階の大会議室へ設置しました。横断幕用の横看板がないため、横断幕をたるみのないようにバト

が、横にちよつとずつ引つ張りながらたるみをとりにんと設置できたので、ほっとしました。

他にも、昨年もあった恒例の仕事としては上松技術専門校からの募集案内パンフレット500枚の印刷の仕事がありました。掲載写真を明るく修正し、印刷の両面カラー500枚は、外注で印刷したほうが安くなるので、外へ依頼しました。

今月は新規の仕事もいくつかあり、キリスト教会松本支部から会報紙のデータ作成及び印刷(M君がデータ作成)やつばさ福祉会からの封筒印刷、かんのう整骨院からの紹介で個人のお客様からの記念マグカップ製作4個の依頼などがありました。

また、変わった仕事としては、市役所福祉計画課から、N君がデザインを担当した缶バッジ製作がありました。



デザインした缶バッジ

景品用なので何処かで見かけるかもしれません。

ふれあい農園

梅雨時期は辛抱!

梅雨の雨が降ったり止んだりの日々が続く六月です。農業班では、玉ねぎの後作にサツマイモを植えつけ、圃場の草取りやブロッコリーの残滓の始末やらで梅雨の晴れ間を見計らって畑作業をしています。



さつまいも

夏野菜の収穫も順調に始まり、今年はキュウリ、ナス、ピーマン、トマトと4年目にして漸く満足できるかな?というレベルになりました。3年連続で失敗しているので今年こそは!という意気込みで土造りから植え付け時期や苗の植え付け適期をじつと辛抱して栽培を始めたのが良かったのだと思います。

朝に収穫した野菜は直売所に出すと一時間位で売り切れ

てしまいます。小玉スイカは、立体栽培をしているのでスイカが棚からぶら下がるように実っています。楽しい光景です。



小玉スイカ



里芋とジャガイモ

里芋とジャガイモも順調で、ジャガイモは7月20日位には収穫できそうです。



カボチャ

しいといわれました。

これから梅雨が明けて本格的な夏がやってきます。夏場の畑作業は過酷な環境下でしなければならず農業班にとっては、体調管理が大切な時期となり、試練の時が続きます。



ぶどう棚

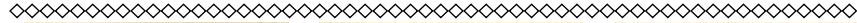
有明のパン屋さん

本 店 〒 399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高 2216-1
 コープ豊科店 電話 0263-88-3307 F A X 0263-88-3318
 〒 399-8205 長野県安曇野市豊科 2637-4
 電話 0263-88-7328



暑い夏にピッタリ新作パン!!

- ★ハムたまごポート ハムとたまごサラダとマスタードが相性バッチシ。一口サイズにちぎることができるので食べやすいですよ。
- ★甘夏ロール レモンクリーム 甘夏風味の生地にはレモンクリームをのせました。夏にピッタリのさっぱりしたパンで、甘夏とレモンの酸味がくせになります。
- ★おやきパン ピリ辛大根みそ みそで大根を炊めたところに一味でピリッとアクセントをつけた、昔ながらのおやきパンです。



	安曇野地域	松本地域
月	安曇野市役所 11:45～	寿台養護学校 11:30～
	安曇野赤十字病院 10:50～	医療福祉専門学校 12:10～
火	大町合同庁舎 11:30～	松本市総合社会福祉センター 11:30～
	豊科病院 11:45～	看護協会 11:30～
水	穂高社会福祉協議会 11:30～	ビジネスカレッジ 12:20～
	大町市役所 11:50～	
木	穂高総合支所 11:50～	松本市社会福祉北部センター 11:30～
	安曇野庁舎 11:50～	松本市役所東庁舎1階ホール 11:30～
金	安曇野赤十字病院 11:10～	松南病院 11:30～
	大町合庁 11:30～	寿台養護学校 11:30～



おやきパン ピリ辛大根みそ



甘夏ロール レモンクリーム



ハムたまごポート

※上記は、主要な外部販売先です。イベント等にも出店することが出来ますので、お気軽にお電話ください。
 連絡先：電話：0263-88-3307 担当：丸山

豊科店

小暑の候、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。本格的な夏を向かえ、暑さと戦いながらスタツフ・職員共々、日々パン作りと販売にいそいそしております。

さて、夏といえば残念ながら、パンが一番売れない時期と言われています。さらに5月27日に近隣にオープンした、綿半スーパーセンターの影響も重なって、今年の夏はより一層の努力を行う必要があります。幸い、コープさんのご尽力もあつてか、来客数が大きく減っている訳ではありませんが、まだまだ油断してはいけないと考えております。具体的な対策として、店頭の雰囲気を変えたり、夏向けパンの開発、またあらたにタウン誌などに掲載してもらうことによる宣伝などを行っていきたく思います。近々、J1松本山雅FCの後援会に加入するとのご噂も聞いております。有明のパン屋さん、松本山雅がどのような形で繋がるかとても楽しみにしております。

夏はまだ始まったばかり。皆様も体調管理等には気を付けてお過ごしください。

有明店



フェア開催中の店内風景

い。その様な方に関してはい。個別面談を行い、相談支援事業所・ご家族との連携を図り、支援会議・ケース会議を開催し、支援方向性の話し合いを行っております。

有明店



黄桃&ラズベリーパン

平成27年を迎え、時が経つのも早いもので、半年が経過しました。いよいよ、夏本番の季節となりました。季節の変わり目は、体調を崩し易いと言われておりますので、日常生活の中での「健康管理」に留意し、体調不良で休むことなく、出勤して頂きたいとお願いする次第です。

さて、有明のパン屋さん勤務されているスタツフの様子ですが、同じ働く仲間または職員とのコミュニケーションの部分で悩まされている方が見受けられます。相手の言動に対して不愉快な思いをする。不愉快と思われる言動に対して聞き流すことができる。

外販部

梅雨の時期に入り、突然雨が降ってきたり雨が降ったかと思えば蒸し暑い日が続いたり不安定な天気が続くようになりまして。

外販部では、そんな不安定な天気の中でもパンが売れるよう外販ミーティングで話し



レザンホールにて

6月20日土曜日に塩尻のレザンホールでパン販売をさせて頂いていただきました。レザンホールでは職員研修が行なわれており、12時からパンを販売させて頂いていただきました。たくさんのお客様に来ていただいたおかげで、なんと販売開始から15分たらずで、完売しました。最近では、おやきパンなど夏にぴったりな商品がたくさん登場してきているので、ぜひ一度外販場所にパンを買いに来てください。

グループホーム

BEING ビーイング



迷い犬 ココちゃん

貴方の時計はどのように時を刻んでいますか？
そして、貴方はどのように時を刻みたいのですか？
ひとり一人の速さで、ひとり一人の秒針の長さで時を刻める場所、それがBeイングです。
私たちBeイングができること、それは何らかの障害をもっているとしても時代の中で、社会の中で、街の中で自分らしい生活をいとなむことのできる場所と、その鍵をお渡しすることです。

長野県も梅雨に入って、3週間余りが経ちました。真夏に入るまでの少しの涼しい期間です。雨が降ると気温が下がり衣類の調整が難しくもなります。

さて、最近Beイングでは、「人助けならぬ犬助け」がありました。そのエピソードをお話ししたいと思います。6月23日。その日は、一日中すごい雨と午後から雷も鳴り出した日でした。Beイングでもネネとユウタが雷が怖くて震えていました。「ネネもユウタもそんなに怖がらなくても大丈夫だよ。」となだめていたら、Beイングの勝手口から見知らぬ大きな犬が飛び込んできました。どうやら見たところ散歩中に雷にビクビクして、飼い主さんとはぐれてしまった「迷子犬」のようでした。最初は、犬の方も来たことがない場所で警戒していましたが、段々と落ち着いてきて自分から伏せができるようになりました。BeイングのYさんが保健所の方が保護に来るまで部屋で、迷子犬の頭をずっと撫でてくれたようです。保健所に連絡していたので、迷子犬と飼い主さんと無事に保健所で再会できたようです。久々に「人助けならぬ犬助け」をして優しい気持ちになりました。

コラム

グループミーティング

前回はNPO法人夢トライの平成27年度総会だった為

定例会で最近の新たな取り組みとして実施しているグループミーティングはありませんでした。2ヶ月も前の話で恐縮ですが、5月9日に行われた定例会でのグループミーティングでの内容を今回は取りあげます。

そもそもこのグループミーティングは、せっかく集まっても、ただ活動内容の報告だけで終わっていた以前の定例会の形式では、せっかく参加しても会員の皆さんの発言がなかなか出にくい事情もあり、話し合うテーマを決め、少人数のグループに分かれ、それぞれテーマに沿った意見交換をしようということになりました。

5月9日の定例会では、出席するメンバーが固定化されてしまっている現状から、なんとかして今まで参加されなかった会員にも参加できるイベントか何かはないか、というテーマで話し合いが行われました。それぞれ5、6人位で3つのグループに分かれ、そ

れぞれに職員が入るとい形で行われました。今回はその話し合いの内容をまとめてみたいと思います。

A班

新年度会は、初めて顔を合わせることで大変よかったです。以前は職場としての飲み会だった為、参加しない人もいた。また、会費も高くなっ

てしまった。理事会としてそういう交流の場をつくることで、家族で参加することができ、良いきっかけになるので

はないか。消費生活展も有力なイベントではあるが、参加主旨も明確にして、新しいメンバーの参加につなげたい。

農業班の畑で芋ほり大会をしたり、夏野菜を収穫してその場でバーベキューをしたり、またBeイングでの料理教室や、有明でのパン教室など、スタッフの活動している場所でのイベントを企画してどうか、等。

B班

野外イベント。公園で遊んだり、バーベキューの企画を理事が中心となり、職員がサポートする。

月に500円のイベント用積立ての再開。イベントの度

に自費は負担になるが、負担の軽減に繋がる。参加せず使わなかった場合でも、管理をきちんとすれば、後から返す事もできる。

親御さんの協力と言っても基本は職員。スタッフの現状が一番分かっている職員のサポートなしには、協力するのは難しい面がある。

定例会等で各々の特技を発表する場があってもいいのでは。(ビデオ上映など) 親だけでなくスタッフの参加にもつながる。また、職員が何か催してもいいのではないか。

今の課題として、参加者が少ない。仕事で来れない場合もあるだろうが、夢トライに子どもを預けるだけで満足してしまっているのでは。食べたり飲んだりだけでなく、外部からの支援員を呼び、支援計画についてや、最新の福祉のスタイル等を講義してもらう。

スタッフを楽しませるにはまず自分が楽しむこと。苦勞を共にすることで打ち解けました。消費生活展はその良い機会になる。

夢トライやパン屋の歌をつくる。誰かの助力を得て、みなで考えた言葉を歌詞にし、

C班

親子、職員みんなで集まれる食事会。

親子でイベント時の外販に行く。夢トライの宣伝、販売に行ったことのない人を促し新しい経験やその場を共有する。その為にイベントのまとまった通知をしていく。

旅行や、バーベキュー、球技大会等のスポーツイベント、皆で山雅の応援に行く。一般の人を呼び込んで、障がい者に関するドキュメンタリー映画の上映。そこでのパ

ン販売や、動画の編集をDTPでやるなどして、福祉に関心を持ってもらう。

余暇活動としてサークルのような場を設けてみれば。スタッフの交流の場をつくる。山雅のスポンサーになり、練習場や試合会場でのパン販売を行う。

編集後記

気付けばこの「夢トライ通信」も今月号で22号目になりました。これからも夢トライ全体のことを新聞を通して、より多くの方に情報を発信していきたいです。

(高野 雅也)